

大阪・関西万博 滋賀県基本計画に係る意見一覧および対応(R5.2.16時点)

参考1

※ ページ番号については、意見対応によりページずれが発生した箇所があります。

整理番号	意見箇所	意見内容	意見への対応	意見者
1	全体	万博に向けて子どもたちがワクワクできる雰囲気を表したい。	ご意見を踏まえ、表紙のデザインを子どもたちがワクワクする雰囲気のものに変更しました。	企画調整課
2	全体	計画を、ブース出展に限定せず県の参画全体に係る事項に広げたことは好ましいが、本文の記載がブースのことを指すのか全体のことを指すのかわかりにくくなった。「1 全体概要」の(6)(7)で全体に関することを触れたのち、「2 展示計画」はブースに限定した記載になることを明記すべき。「4 運営計画」も、「3 催事・来県促進計画」からの流れで、県内催事等を含む全体に対するものと捉えられかねない。ブースに関するものと明記した方がよい。もし滋賀県ウィーク(仮称)における県内催事も含むなら、その旨を明記した方がよい。	ご意見を踏まえ、P11の「2 展示計画」の見出しを「2 展示計画(ブース出展について)」と追記しました。 また P18の「4 運営計画」についても、滋賀県ブースに関する記載であるため、「※運営計画はブースにおける計画となります。」と追記しました。	有識者懇話会

3	全体	<p>上記に関連して、ブースに関するものと全体事項とを整理するため、「2 展示計画」の次に「4 運営計画」があり、「3 催事・来県促進計画」という順序の方がわかりやすいのでは。</p> <p>まず30万人を目指すことについてブースの中身を持ってきて、その後、300万人を目指す来県促進の説明という流れのほうがよい。</p>	ご意見を踏まえ、同上の対応としました。	有識者懇話会
4	全体	<p>万博に係る、時間(会期の4月～10月)と空間(万博全体、関西パビリオン、滋賀県ブース)を意識して基本計画を作成すべきである。</p> <p>現状では、時間と空間が整理されていないので、全体像が理解しづらい計画となっているものと思料される。また、万博全体の図面、関西パビリオンの図面を参考資料等として添付しないと、読者にはわかりにくいのではないか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、空間の把握に資するよう、P3の「(1)大阪・関西万博の概要」に滋賀県と万博会場の位置関係を示し、縮尺で距離感を表すとともに、滋賀県全域と万博会場を回遊するイメージ図を追加しました。</p> <p>さらに P5 の「『関西パビリオン』へのブース出展」に滋賀県ブースの配置図、同ページの「会場内催事への出展」に万博会場と関西パビリオン、P16の「3 催事・来県促進計画」に万博会場、関西パビリオン、県内の図を追加しました。</p> <p>また、時間の把握に資するよう、P10の「(6)オール滋賀での万博参加」の三者の共創の図に時系列の要素を盛り込みました。</p>	商工政策課
5	全体	万博の時間(会期の4月～10月)を意識した活用についても、記載すべき	現時点であまり具体的な記述はできませんが、P16の催事・来県促進計画において、「実施にあた	商工政策課

		はないか。 例：7月1日は、びわ湖の日の記念イベントを開催 例：4月は●●展、5月は■■展、10月は▲▲展といった仕掛け	っては、時期・季節や本県の動き(たとえば7月1日の「びわ湖の日」等)と合わせた展開を検討するほか、」と追記しました。	
6	全体	和暦と西暦の混在。	本県行政文書では和暦を基本としていますが、大阪・関西万博においては西暦表記が基本となっているため、ご意見を踏まえ、かっこ書きで併記する等の対応を行いました。	企画調整課
7	偶数ページ	右上の見出し名称と右下のページ番号が、印刷製本した場合、読みにくい。	ご意見を踏まえ、それぞれ左上、左下に移動して見やすさに配慮しました。	企画調整課
8	P2 目次	数字の後ろのピリオドを削除	ご意見のとおり、P2の目次を「1. 全体概要」→「1 全体概要」のようにすべて体裁を修正しました。	文化芸術振興課
9	P4 (2)滋賀県としての参画とその意義	2行目”滋賀の人々の「いとなみ」は、先人から脈々と受け継がれてきた持続可能な生活そのもの です”の部分をもっとシンプルな表現にした方がよい。 (例)・”先人から脈々と受け継がれてきました”でよいのでは。 全体的に句読点が多く、読みにくい。	ご意見を踏まえ、P4以降「(2)滋賀県としての参画とその意義」について、全体的に見直しを行いました。	有識者懇話会
10	P4 大阪・関西万博への視	「当たり前として無意識に過ごしてきた」という表現は、少し県民に失礼な	ご意見を踏まえ、P4の「当たり前として無意識に過ごしてきた日常から滋賀の暮らしを再発見でき	有識者懇話会

	点	ので、配慮が必要では。	る」という文章を「普段の滋賀の暮らしの中にある魅力を再発見できる」という表現に修正しました。	
11	P4 大阪・関西万博への視点	移住・定住を直接的に表現することは万博の趣旨になじまないのでは。P4の<本県における万博の活用イメージ>(2)効果、P5の万博会場から滋賀県内への人流促進、P7の大阪・関西万博を契機とした滋賀県への目標誘客者数の箇所も同様。	この計画の方向性を定める際に、移住も出展目的の一つに設定しており、趣旨にはなじむものと考えますが、一部箇所の表現を修正しました。	市町振興課
12	P4 <本県における万博の活用イメージ>	図中の「催事」は、会場内のものに限っているので、「会場内催事」としたほうがよい。	ご意見のとおり、P4の図中の表記を「会場内催事」に変更しました。なお、同図<滋賀県内>に、「会場内催事」と対になる「県内催事」のブロックを追加しました。	有識者懇話会
13	P4 <本県における万博の活用イメージ>	県民や子どもたちの万博への参加を促進するなら、(1)枠組みの概念図において、<滋賀県内>から<万博会場>への矢印も必要ではないか。	ご意見を踏まえ、P4の図中に緑色の矢印を加えて県民や子どもたちの万博への参加を追記し、あわせて「効果」における「魅力の再発見」も同色で整理しました。	教育総務課
14	P4 (2)滋賀県としての参画とその意義	「ブース出展」の項目はあるが、会場内催事についても、現時点で可能な範囲で記載した方がよいのでは。	ご意見を踏まえ、P5に「会場内催事への出展」の項目を起こして記載を追加しました。また、万博会場内の催事は「万博会場内の各催事施設」および「関西パビリオンに付設される催事スペース」で実施することについて記載を整理しました。	有識者懇話会

15	P6 (3) SDGs への貢献	MLGs の説明文があるが、本文でも触れるべき。	ご意見を踏まえ、P7の MLGs の記載に接続するため「国際連合が提唱する SDGs の理念に配慮した取組を検討します」を「国際連合が提唱する SDGs、また滋賀県が琵琶湖版の SDGs として独自に定めた MLGs の理念に配慮した取組を検討します。」としたほか、「あわせて、来場者等への啓発を行っていきます。」の一文を削除し、MLGs の説明文にあった「万博への参画にあたっては、SDGs とあわせて MLGs の発信についても検討していきます。」の文章を本文に移動しました。	有識者懇話会
16	P6 (3) SDGs への貢献	『『マザーレイクゴールズ(Mother Lake Goals MLGs)』という新たな目標をつくりました。』に「県民・NPO 等のさまざまな主体の皆様とともに」と追記。	ご意見のとおり P7 の記載を修正しました。	琵琶湖保全再生課
17	P7 (4) 出展の目標	人数目標があるなら、新たに「観光推奨意向度」のような指標を設けなくてもよいのでは。人数目標とのかかわりがわかりにくい。	ご意見を踏まえ、P8では観光推奨意向度でなく、経済波及効果の計算、エリア別訪問率の分析、デジタルスタンプラリー等による行動調査、県内におけるイベント開催時のアンケート等を効果測定的手法として例示しました。	有識者懇話会
18	P7 (5) 出展参加のテーマ	テーマ文について、フォントの工夫やキャラクター、デザイン等により「脈々」という、琵琶湖のさざ波のようなゆったりと揺れる感じを伝えら	ご意見を踏まえデザインを検討しましたが、キャラクターやロゴの設定に当たっては知的財産関連調査等を経る必要があることから、P9において現時点ではフォントを変更して対応し、ロゴ等に	有識者懇話会

		れるとよい。	については今後検討します。	
19	P7 (5)出展 参加のテーマ	英語版「Living Sustainably with Lake Biwa」は間違っていないが主語が不明なので「Sustainable Living with Lake Biwa」でよいのではないか。	P9の英語版表記を「Sustainable Living with Lake Biwa」に修正しました。	有識者懇話会 国際課
20	P8(6)オール 滋賀での万博 参加	万博の開催は関西では55年ぶりであるが、1990年に大阪で「国際花と緑の博覧会(花博)」が開催されている。	「万博」には比較的規模の大きな「登録博覧会」だけでなく大阪花博のように比較的小さな「認定博覧会」も含むことから、ご意見を踏まえ、P10の記載を登録博覧会に限ったものに変更しました。	企画調整課
21	P8(6)オール 滋賀での万博 参加、P17 全 体スケジュール	今後の推進体制について記載すべき。	今後、全県的な推進体制を構築することを想定し、P10本文に「令和5年度はじめに推進体制を構築し、」と追記しました。 あわせて、P20の全体スケジュールにも追記しました。	企画調整課
22	P8(6)オール 滋賀での万博 参加 県民と の共創	1970年万博の参加者は子どもたちだけでなく、「大人になっても忘れないインパクト」という表現は限定的。	ご意見を踏まえ、P10の記載を「ずっと記憶に残るインパクト」に変更しました。	企画調整課
23	P8 事業者と の共創	誘客プログラムの「造成」という表現に違和感がある。	ご意見を踏まえ、P10の記載を誘客プログラムの「企画」に修正しました。	有識者懇話会
24	P8 県内市町 との共創	「県民・事業者・県内市町との共創を目指します。」「県内市町との共創」という表現について、市町に具体的	具体的な説明については、既に各市町へ計画の骨子を提供したほか、今後、参加の仕方に関する説明も実施していきたいと考えています。なお、	市町振興課

		な説明ができていない中で、「共創」とまで表現することは妥当か。「県内市町の有する魅力の発信」程度が妥当ではないか。	市町向け説明の場の設定に当たってはご協力をお願いします。	
25	P8（6）オール滋賀での万博参加、P17全体スケジュール等	「2 展示計画」や「4 運営計画」で、子どもや外国人、障害者など誰もが会場の展示を楽しめる配慮を行うとあるが、会期中だけでなく会期前からさまざまな方が参加できる機会があるとよい。 例えば子どもたちが、会期前から学びの場や催事等に関わる機会をもつことができれば、周りの大人も含めてワクワク感や機運の醸成につながれるのではないか。 基本計画を読んだ方が、会期前の段階から自分が万博にどう関わられるのかイメージできる記載・表現があると望ましい。	P10の図について、「全期間を通して」という表記が「会期中の全期間」と混同されかねないため「会期前から会期後まで」に変更しました。 また、図に時間軸を示す表現を加えました。	商工政策課
26	P9（1）展示基本方針	他の項目と異なりあえて「『展示』基本方針」と記載する必要性はあるのか。	ご意見を踏まえ、P11の見出し名称を「基本方針」に変更しました。	企画調整課
27	P9（1）展示基本方針	滋賀県は外国の方からの知名度は低いですが、観光でなく自然を使った人の「いとなみ」を魅せることは、トレンド	「いとなみ」をテーマとして、それを特にインバウンド対応では事前発信することが重要であるため、シガリズムの魅力発信を含めて関係部局やび	有識者懇話会

		であり、PRとしてよいと思う。また欧米人は自然を好まれる方が多く、琵琶湖を中心とした魅力や京都から近いことも強みである。	わこビジターズビューロー等と連携していきたいと考えます。	
28	P9 (1)展示 基本方針	外国の方は、既に Web でさまざまな画像を見ており、きれいなものには飽きている。それよりも本物の農村の暮らし、Deep な日本が注目されている。したがって、「いとなみ」を魅せることはよい視点。	ご意見も参考に、同上の対応を行っていきます。	琵琶湖博物館
29	P9 (1)展示 基本方針	滋賀県ブースは、関西パビリオンの他府県のブースとちぐはぐにならないよう連携して進めているのか。	府県ブースについては、関西パビリオンのテーマ「いのち輝く関西悠久の歴史と現在」に沿った形で各府県が独自にテーマ設定を行う一方、催事については他府県と一体的な出展も関西広域連合として計画していく予定です。 P10において関西広域連合との連携について記載しています。	有識者懇話会
30	P9 (1)展示 基本方針	滋賀県が万博会場と「水系でつながっている」ということがコンセプト等にあってもよいのでは。	知事も広域連合長として”水のつながり”を大事にしたいと発言されており、ご意見を踏まえ、P11の本文冒頭に「大阪・関西万博は、万博として初めて四方を海に囲まれた会場で開催されます。琵琶湖の水はこの大阪湾に注いでおり、会場と琵琶湖は、水を通じてつながっています。」と追記したほか、P3の滋賀県と万博会場の位置関係を示す	有識者懇話会 知事



			図においても、淀川水系によるつながりを記載し、P4 のイラストでも、飛行機だけでなく船を追加しました。なお、水のつながりについては実際の展示においても意識していきたいと考えます。	
31	P9 (1) 展示 基本方針	視座を「伝えます」という表現に違和感がある。「示します」等ではどうか。	ご意見のとおり P11 を修正しました。	有識者懇話会
32	P9 (1) 展示 基本方針	「ストーリー」という表現が急に出てくるのでわかりづらい。P10 にも<ゾーニング&ストーリー>という記載があるが、<展示コンセプト>との関係性がわかりにくい。	ご意見を踏まえ、P11の「ストーリーは、～」を「来館者に対し～」という表現に変更しました。また、P12 の<ゾーニング&ストーリー>は「ゾーニング」という表現に整理しました。	有識者懇話会
33	P9 (1) 展示 基本方針	本件の条例・計画の文言と整合させるため、「カーボンニュートラル」を「CO <sub>2</sub> ネットゼロ」という文言に修正。	ご意見のとおり P11の文章を修正しました。	CO <sub>2</sub> ネットゼロ推進課
34	P9 (1) 展示 基本方針	左側の丸について「ダイバーシティ」という表現と「多様性」という表現を比較検討されたい。	ご意見を踏まえ、意味合いについて検討した結果、P11の当該箇所を「誰もが楽しめるユニバーサルデザイン」という表記に変更し、本文の記載もあわせて変更しました。	有識者懇話会
35	P9 (1) 展示 基本方針	左側の丸について「ダイバーシティ」を考慮すべきは「空間構成」だけではないのでは。	ご意見を踏まえ、同上の対応としました。	有識者懇話会
36	P9 (1) 展示 基本方針	右側の丸に「ダイナミックな演出」という記載があるが、本文でも触れるべき。	ご意見を踏まえ、P11の本文に「展示体験では、体験性を高める展示デバイスの活用やセンシング技術を用い、滋賀の自然の魅力をダイナミックに	有識者懇話会

			演出します。」という表現を追加しました。	
37	P9 (1)展示 基本方針	3つの丸は、独立している反面、重なる部分もあるのではないかと。	ご意見を踏まえ、P11の図について「子どもたちがワクワクできる体験」を中央に、左右の円と少しずつ重なるデザインとしました。	企画調整課
38	P9～P13 2 展示計画	<展示コンセプト>という見出しが、その後の導入ゾーンやメインホールの説明にもかかるかと思うが、途中で<ゾーニング&ストーリー>という見出しが出てきて、わかりにくい。見出しレベルを整理すべきでは。	<展示コンセプト>は(1)基本方針、<ゾーニング>は(2)展示の概要に関する説明と整理しました。ストーリーという表現は削除しています。	有識者懇話会
39	P9～P13 2 展示計画	ブースにおいて、会場から滋賀へのアクセスを分かりやすく説明するなど、滋賀に関心を持っていただいたのち、実際に来ていただけるよう丁寧に計画しておく必要がある。	P15のカメラ型デバイスの活用法の説明部分において、滋賀周遊観光を促進する旨を記載しました。運営面については今後検討していきます。さらに、情報発信に当たっては、関係部局やびわこビジターズビューロー等と連携していきたいと考えます。	有識者懇話会
40	P10 (2)展 示の概要	「滋賀の全景」という表現がわかりにくい。	ご意見を踏まえ、P12の本文の記載を「滋賀の自然環境」と変更しました。	企画調整課
41	P10 (2)展 示の概要	「滋賀ならではの魅力」という表現がわかりにくい。	ご意見を踏まえ、P12の本文の記載を「滋賀ならではの自然・歴史・文化の魅力」と変更しました。	企画調整課
42	P10 (2)展 示の概要	滋賀県ブースの広さがイメージしにくいので、規模感を示す必要がある。	ご意見を踏まえ、P12の平面図に面積等を追記しました。	有識者懇話会
43	P10 平面図	滋賀県ブースへの出入りがどのような形となるかわかりにくい。	ご意見を踏まえ、P12の本文に「関西パビリオン中央部から見える潜水艇の～」と追記しました。	企画調整課

			また、同ページの平面図に関西パビリオン中央部とエントランスを行き来する矢印を追加しました。	
44	P10 ~ 13 (2)展示の概要	琵琶湖の大きさ、スケール感がわかるように工夫してほしい。現状の P12の展示のイラストでは普通の池のように見える。	イラストは、実際の展示予想図に近いものを表現しているため差替えは行わず、P14の本文において、「広大な琵琶湖を中心に、滋賀の360度パノラマが一面に展開する没入感のある映像空間」と記載して規模感を表現しました。	有識者懇話会
45	P11,P12 イラスト	導入ゾーンが次のメインホールにつながっているイメージがわきにくい。個別に完結しているように見える。	ご意見を踏まえ、より分かりやすい表現を検討した結果、各イラストの加工でなく、P12の本文冒頭に、「エントランス」、「導入ゾーン」、「メインホール」という構成を文章で記載し、さらにその下の平面図においても、導入ゾーンとメインホールのイラストを追加し、イメージしやすい形にしました。	有識者懇話会
46	P11 導入ゾーン 本文	今の滋賀を知るために必要な歴史性、地学的側面を前段で伝えることは重要。	ご意見を踏まえ、その方向性でより具体的な映像ストーリー(案)を P13に追加しました。	琵琶湖博物館
47	P11 導入ゾーン 本文	琵琶湖の舟運については、現在はほとんど行われておらず、現地での観光等につながりにくい。	ご意見を踏まえ、舟運についての記載を削除し、琵琶湖の生きものや自然環境を中心とした映像ストーリー(案)を P13に追加しました。	琵琶湖博物館
48	P11 導入ゾーンの KEY PLAN	導入ゾーンのイラストが、どの方向から見たものかわかりづらい。	ご意見を踏まえ、P13の導入ゾーンとメインホールの KEYPLAN の図に、視点を赤い矢印で追記しました。	企画調整課
49	P11 導入ゾーン イラスト	イラストには大人や子ども、外国の方、車イスユーザーなど多様な方が表	ご意見を踏まえ、P13のイラストの差替えを行いました。	有識者懇話会

		現されていた方がよいのでは。窓の位置なども低い設定があるなどわかるようにした方が滋賀県のホスピタリティが伝わる。		
50	P11 導入ゾーンストーリー	万博であれば、未来へつなげることが重要。滋賀県らしさを含めて考えると、ゆりかご水田、人と動物、自然を守る・整えるといったことをストーリー化しては。	ご意見を踏まえ、より具体的な映像ストーリー(案)を作成し、P13に記載しました。	琵琶湖博物館
51	P11～13 展示概要	P9の「来館者の記憶に残るダイナミックな演出」が、その後の「展示概要」からはわかりにくい。	ご意見を踏まえ、P14のメインホールの説明において、「床面では琵琶湖の多様な固有種、壁面では様々な動植物が映像の中からダイナミックに現れます」と追記しました。	企画調整課
52	P12 メインホール説明	見出しの”世界に一つ、自分だけの滋賀コレクション”の意味するところが具体的に何を示しているのかわかりにくい。(カメラ型デバイスで収集したものの関係性)	ご意見を踏まえ、もともと P12にあったメインホールの説明と P13にあったカメラ型デバイスの説明を一部統合し、P14の見出しを「探す！撮影する！持ち帰る！滋賀の魅力を見つけ出し、～」と変更しました。	有識者懇話会
53	P12 メインホール説明	メインホールの「滋賀コレクションを完成！」や「探す・集める」といった記載のイメージがわかりにくい。P13のカメラ型デバイスの説明が先にあるとわかりやすいのでは。	ご指摘を踏まえ、P14本文および体験ストーリー(案)の記載を充実させるとともに、カメラ型デバイスに関する説明を同ページに記載。冗長となるのを防ぐため、実際の活用法については P15に記載するようにしました。	有識者懇話会
54	P13 カメラ	カメラ型デバイスは、導入ゾーンでな	ご意見を踏まえ、同上の対応としました。	有識者懇話会

	型デバイス説明	くメインホールだけで使用することがわかりにくい。		
55	P12 メインホール説明	滋賀県独自の「コンテンツ」とあるが、P13の展示「コンテンツ」と意味合いが異なるので、「資源」や「魅力」等と表現すべきではないか。	P14の本文の記載を見直し、「滋賀県独自のコンテンツ」という表現を削除しました。なお、「コンテンツ」という表現はその後も別の意味合いで出てくることから、「展示コンテンツ」と「観光コンテンツ」という使い方に整理しました。	有識者懇話会
56	P12 メインホール説明イラスト	イラストの中でカメラ型デバイスを使っているのが小さすぎてわかりにくい。イラストをデフォルメするなどして強調するなどわかりやすくしてはどうか。	ご意見を踏まえ、P15のカメラ型デバイスの活用法に関する説明においてイラストを追加しました。	有識者懇話会
57	P12 メインホール説明イラスト	イラストは個々人が楽しんでいるが、もっとみんなで楽しんでいるような雰囲気の方が、誰もがいてみたいと感じてもらえるのではないか。(このイラストを魅力的と感じてブースに来てもらえるように)たとえば、背景を背にポーズをとっている等。	P14のイラストに、親子連れや子ども同士の姿を記載し、個人で楽しむだけでないことを表現しています。	有識者懇話会
58	P13 カメラ型デバイス説明	上段でびわ湖の生きものの流れに、伝統文化や産業が唐突に出てくる印象。テーマの一貫性がないように見える。繊維や信楽焼など自然とつなげてストーリー化できる伝統文化や産	ご意見を踏まえ、P15本文の記載を「滋賀で生まれた産業や滋賀に暮らす人々」と変更し、文章表現により唐突さを緩和しました。また、「自然保護の取組、伝統文化やものづくりの職人技等」という表現については「滋賀の観光コンテンツの情報」	有識者懇話会

		業はあると思う。	とまとめました。	
59	P13 カメラ型デバイス説明	滋賀コレクションをもとに、貴重な生きものの実物を実際に県内で見られる場所のマップを構築するアイデアについては、来県者が現地でその生きものを採集して荒らしてしまうといけないので、公開できない情報もある。	ご意見を踏まえ、計画では具体的な記載を見送ります。実際の情報の内容および運用に関しては今後検討します。	琵琶湖博物館
60	P13 会場外等でのコンテンツ活用	「会場外および万博会議終了後の展示コンテンツ活用」に”ブースのコンテンツの水平展開”とあるが具体的にどうするのかわかりにくい。具体的に記載すべき。	ご意見を踏まえ、P15本文の記載に「たとえば、コンテンツ制作時の画像情報や解説文について、博物館等の関連施設での利活用を検討します。」と追記しました。	有識者懇話会
61	P13 会場外等でのコンテンツ活用	「県内外で開催するイベント」とあるが、展示会やイベントは会期後のものもあるのでは。	ご意見を踏まえ、P15本文の記載を「また、県内外や会期後に開催する展示会やイベントでも」と修正しました。	企画調整課
62	P13 WEBパビリオンとの連携	「MaaS」について、注釈をつけるべき。	ご意見を踏まえ、関西広域連合における計画の状況を参照し、P15に注釈を追記しました。	有識者懇話会
63	P14 ~ P15 催事・来県促進計画	催事に関する計画と来県促進に関する計画が、ボリューム感から並列表記に見合っていない。	ご意見を踏まえ、もともと (1)基本方針 (2)個別計画 <催事計画> <来県促進計画> という構成にしていたところ、P16およびP17に	企画調整課

			<p>において</p> <p>(1)催事計画</p> <p>(2)来県促進に関する取組</p> <p>に変更しました。</p>	
64	P14 (1)基本方針	<p>催事には、会場内の催事と県内の催事があることを明記すべき。また、Web上での催事も行うなら記載できないか。それらを区別して書く必要がある。</p>	<p>ご意見を踏まえ、P16本文の記載の中で「万博会場内の催事施設」および「関西パビリオンの催事スペース」、「県内各地」等で実施することについて整理しました。</p> <p>なお Web パビリオンでの催事については関西広域連合と今後検討していくこととなるため、現時点では記載を見送ります。</p>	有識者懇話会
65	P14 (1)基本方針	<p>「県内を効果的に活用」という表現に違和感。「県内各地」「県内市町」等では。</p>	<p>ご意見を踏まえ、P16本文の記載を「県内各地等、さまざまな場を活用」と修正しました。</p>	有識者懇話会
66	P14 (1)基本方針	<p>リアルとバーチャルの掛け算と、2方向という表現に乖離がある。どちらかにしては。</p>	<p>ご意見を踏まえ、P16本文から当該文言を削除し、文章全体を見直しました。</p>	有識者懇話会
67	P14 < 来県促進計画 >	<p>来県促進に関する取組について本文を記載すべき。</p>	<p>ご意見を踏まえ、P17に来県促進に関する取組として、「各地域の持つさまざまな魅力を磨き上げ、受入体制を強化するとともに、テーマに沿った万博会場からの周遊ルート等を創出します。」と追記しました。</p>	企画調整課
68	P14 < 来県促進計画 >	<p>コンテンツ「造成」という表現に違和感がある。作成、制作、創造等では。</p>	<p>ご意見を踏まえ、P17の「『シガリズム』の観光コンテンツ制作」と表現し、説明文においては「観光</p>	有識者懇話会

			コンテンツを～創出し、」という表現に修正しました。なお「旅行商品」に関しては「造成」という表現のままとしています。	
69	P14 <来県促進計画>	「滋賀らしさを実際に体感していただくために、シガリズム体験コンテンツを県内事業者と連携して組成し、滋賀らしいおもてなしの充実を図っていきます。」を、「その季節、その土地でしか体験できないコンテンツを県内事業者と連携して創出し、滋賀ならではのおもてなしの充実を図っていきます。」に修正願いたい。	ご意見のとおり P17の記載を修正しました。	観光振興局
70	P14 ※シガリズム	「滋賀らしいニューツーリズム」を「新たなツーリズムの総称」に修正願いたい。	「シガリズムとは」として、ご意見のとおり P17の記載を修正しました。	観光振興局
71	P14 ※シガリズム	シガリズムは、外国人にとって伝わりやすくする必要があると思う。	ご意見を踏まえ、P17において、写真等も取り入れてシガリズムの説明を補強しました。	有識者懇話会
72	P14 <来県促進計画>	「交通・地域ネットワークを活かした旅行商品の造成」というのがわかりにくい。	ご意見を踏まえ、P17において「滋賀ならではの旅行商品の造成」と変更し、滋賀の持つ地域性と交通ネットワークについて記載しました。	企画調整課
73	P14 <来県促進計画>	来県促進計画は「シガリズム」しかないのか。	ご意見を踏まえ、国の取組である「万博交流イニシアチブ」を活用することおよび国スポ・障スポや安土城築城450周年行事との連携について記載しました。	副知事 総合企画部



74	P15 運営計画	「来場者」→「来館者」に変更。	ご意見を踏まえ、P18の記載を修正するとともに、万博会場への「来場者」、関西パビリオンおよび滋賀県ブース(仮称)への「来館者」と、それぞれ用語を整理しました。	企画調整課
75	P15 運営計画	「滋賀らしいおもてなしの心あふれる運営」とあるがよくわからない。具体的にどのような場面なのかイメージできるように展示のことをまず記載し、展示物を見る際に専門性のある方がご説明するなど表現すべき。	ご意見を踏まえ検討した結果、「おもてなしの心あふれる」というのは P18のホスピタリティ計画で触れていることから、「ブース展示の魅力を最大限に活かす運営」と変更しました。 なお、運営計画の項目であるため、展示に関する記載はしていません。	有識者懇話会
76	P15 運営計画	ホスピタリティ計画において、「ユニバーサルデザインや～」を「ユニバーサルデザインの視点を踏まえたブース展示や～」に修正してはどうか。	ご意見を踏まえ、P18の記載を「ユニバーサルデザインや～」を「ユニバーサルデザインの視点を踏まえたブース展示・運営や～」に修正しました。	健康福祉政策課
77	P15 運営計画	ホスピタリティ計画において、子どもだけでなく、デバイスが扱いづらい高齢者に関する配慮も記載した方がよい。	ご意見を踏まえ、P18のホスピタリティ計画において、高齢者に関する追記しました。また、「安全・安心に楽しんでいただける」という基本的な考え方を追記しました。	有識者懇話会
78	P15 運営計画	ホスピタリティ計画において、「外国人」と「障害のある方」という表現のばらつきが気になる。「障害」という表記についても「障がい」等もあり、留意が必要。取扱いを滋賀県の行政文書に合わせるべき。	滋賀県としては「障害者」という表現を使用しており、ご意見を踏まえ、P18をはじめ、各ページで「外国人」、「障害者」という表記に統一しました。	有識者懇話会 障害福祉課

79	P15 運営計画	ホスピタリティ計画において、外国の方は滋賀県について事前の知識がないので、説明しないとわからないはず。したがって、展示会場等でいかに魅力的な説明をできる人を雇用できるかが重要。	人員配置については、関西パビリオンとして一定の制約が生じる見込みのため、記載は見送りますが、魅力的な説明対応は重要であり、今後検討します。	有識者懇話会
80	P15 運営計画	「衛生管理清掃・ごみ処理計画」について、「衛生管理清掃」という言葉は存在しないのでは。	ご意見を踏まえ、「衛生管理計画」に変更しました。なお、この標題からは何を行うかわかりにくいので、「廃棄物の再資源化等、」と具体的な例示を追記しました。	企画調整課
81	P15 運営計画	「衛生管理清掃・ごみ処理計画」で、SDGs の観点から滋賀県としての取組発信があった方がアピールにつながるのでは(滋賀県が先駆けて他県に影響を与えるような強い打ちだしがあってもよい)。	ご意見を踏まえ、P18の「衛生管理計画」において、「この取組を通じ、滋賀県の環境配慮の姿勢を示していきます。」と追記しました。	有識者懇話会
82	P15 運営計画	「雇用計画」では滋賀県民の方の雇用も計画されるのか。今の表記ではそのように受け取られかねない。そうでなければ、特に「雇用計画」を記載せず、「(1)基本方針」の中で少し触れる程度でよいのでは。	現時点では、関西パビリオンで関西広域連合に一括雇用されるスタッフと滋賀県ブース専属で滋賀県独自に雇用するスタッフが発生する見込みだが、具体的にはまだ決まっていません。ご意見を踏まえ、全体のバランス面からも、「雇用計画」の記載を削除しました。	有識者懇話会
83	P15 運営計画	「保険等の計画」は、計画の策定まで行う必要があるか。	ご意見のとおり、運営マニュアルの中で対応できる可能性があり、P18の「保険等の計画」におい	企画調整課

			て、「保険加入等について検討します。」という表現に変更しました。	
84	P16 5 レガシーの活用 (1)基本方針	滋賀の子どもに万博を体験いただくこともレガシーだが、琵琶湖水系でつながっている他府県の子どもたちとその源流である滋賀県について学んでいただくこともレガシーではないか。	P11の展示計画において”水のつながり”に関する記載を追加しました。レガシーの項目においては、万博をきっかけに滋賀に関心を持っていただいた方々との関係性について記載するものと整理しています。	有識者懇話会
85	P16 (1)基本方針	文中に「県内市町と協力し合っ」の文言を追加して「万博での取組や有形・無形の成果を、県内市町と協力し合っ、会期後もレガシーとして有効に活用し、…」としてはどうか。 P8の(6)オール滋賀での万博参加のうち、「県内市町との共創」において「会期後にはレガシーとしての活用を促進します。」とあるが、P16では県内市町との共創にかかる記述がなく、県内市町との関係性が分かりにくい。	ご意見を踏まえ、レガシーに関する記載を集約することとし、P10「県内市町との共創」の項目からレガシーの記載を削除し、P19「5 レガシーの活用」において、「県内市町等と協力・連携しながら」と記載しました。	総務課
86	P16 (1)基本方針	関係人口、定住人口についても注釈をつけて用語を整理してはどうか。	ご意見を踏まえ、P19において、交流人口、関係人口、定住人口それぞれに注釈をつけました。	企画調整課
87	P16 (1)基本方針	レガシーの積極的な活用に「取組ます」→「取り組みます」	誤記につき P19の記載をご指摘のとおり修正しました。	有識者懇話会 文化芸術振興課

88	P16 (2)レガシー活用の方向性	この項目は見出しが(1)しかないの で、見出しを削除するか、<レガシー 活用の方向性>を(2)に格上げして はどうか。(同一意見あり) 目次も同様。	ご意見を踏まえ、P19において「レガシー活用の 方向性」を(2)に格上げし、内容を整理しました。	有識者懇話会 総務課
89	P16 (2)レガシー活用の方向性	レガシーがさっぱりしすぎている。文 字ばかりで印象に残らない。<レガシ ー活用の方向性>を詳しくしてはどうか。 P17の全体スケジュール内にある 具体的記述を箇条書きでも入れた 方がよい。	ご意見を踏まえ、P19の「(2)レガシー活用の方 向性」において本文の記載を見直すとともに、図 を追加し、視覚的なわかりやすさを表現しました。	有識者懇話会
90	P16 (2)レガシー活用の方向性	万博をきっかけに、滋賀県が相手と 関係性を築くのではなく、相手側から滋 賀県に関心を持っていただけよう にしないといけないのでは。	ご意見を踏まえ、P19の「滋賀県が関係性を築い た人たち」という表現を「滋賀に関心を持っていた いただいた方々」に修正しました。	企画調整課
91	P16 (2)レガシー活用の方向性	「暮らし」と「滋賀ぐらし」で漢字と仮 名の表記が混在している。	「暮らし」に表記を統一しますが、移住に関して本 県では「滋賀ぐらし」という用語を使用しているた め、P19では「滋賀ぐらし」とかっこ書きで表記す ることとしました。	企画調整課
92	P16 (2)レガシー活用の方向性	知事発言にある、万博へ滋賀県の子 どもたちを招待する施策について記 載が必要では。	子どもたちの経験が今後のレガシーになることか ら、ご意見を踏まえ、P19に「滋賀の子どもたち については万博に招待して未来社会を実感してもら い、」という表現を追加しました。	企画調整課
93	P16 (2)レガ	ユニバーサルの視点から、どこまでの	子どもたちの招待に関しては未定の部分が多く、	有識者懇話会

	シー活用の方向性	範囲の子どもたちに万博についてただこうと考えるのか、検討が必要では。	本計画では P19の記載にとどめ、具体的な記述は見送ります。子どもたちの範囲については、実際の施策の中で検討していきます。	
94	P17 全体スケジュール	開催何日前という節目を意識した取組を行っては。	ご意見を踏まえ、P20 の本文において残り日数を意識しながら準備を進めることを追記しました。	知事
95	P17 全体スケジュール	大阪・関西万博の開催時期と展示運用等のスケジュールにずれが生じている。	ご意見のとおり、同時期となるよう P20の図を修正しました。	企画調整課
96	P17 全体スケジュール	「各種事前調査」について具体的な想定があるか。	事業化は予定していないことから、他の類似調査を活用することとし、P20の記載を削除しました。	企画調整課
97	P17 全体スケジュール	「会場内催事」の「実施計画策定」について具体的な想定があるか。	関西広域連合との協議とあわせ、本県としてもどのような催事を展開するか検討していく予定ですが、計画の策定までは行う必要性が認められないため、P20の記載を見送りました。	企画調整課
98	P17 全体スケジュール	「会場内催事」は開催期間中のみだが、「県内催事」や「観光誘客」は会期前から実施する必要があるのではないか。	ご意見を踏まえ、P20の全体スケジュールにおける「県内催事」および「観光誘客」について、実施期間を前年度からに変更しました。なお実施に当たっては関係所属と十分調整させていただきます。	企画調整課
99	P17 全体スケジュール	他の箇所の表記に合わせて「展示品」→「展示コンテンツ」、「教育等」→「観光・教育等」という表現に変更。	ご意見のとおり、P20の全体スケジュールにおける「展示品の教育等への利活用」という表現を「展示コンテンツの観光・教育等への利活用」に修正しました。	企画調整課

100	P17 全体スケジュール	スケジュールに関しては、万博協会や関西広域連合の動きに応じて変動する部分があるのでは。	ご意見を踏まえ、P20の図の下の本文に「万博協会や関西広域連合と連携し、」と追記しました。	企画調整課
101	裏表紙	裏表紙を追加しては。	裏表紙を追加し、奥付も記載しました。	企画調整課